

ミチヤナギ (道柳)

名前の意味：道端いみ みちばたに生えている葉が柳やなぎに似た草の意味。

分類：双子葉類、タデ科、タデ属

(タデ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい道端みちばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：さやのある這う茎はくき、白っぽい緑色の葉、断面が三角形の実

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：5枚、離弁りべん (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：イヌタデの仲間は花が穂ほになるがミチヤナギの花は葉と葉の間に出る。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)